

これまでも、これからも そして後進の育成。



にん しょう
任 書猛 さん

大阪鍼灸専門学校(現 森ノ宮医療学園専門学校)
鍼灸学科 第4期夜間部卒業

スタートは“自分の鼻炎を治したい”

ずーっと鼻の調子が悪く、大学生のときに、大阪大学附属病院の耳鼻科をはじめとして、病院等を受診したものの、思わしくなくて…それじゃ自分で治そうと思ったのがきっかけです。大学の図書館で医学書等を探して読んでいたときに、偶然『傷寒論』を見て、そこに書いてある内容にびっくり。皆さんご存知だと思いますが、これは基本的に薬学の本ではありますが、漢方にはこんなに凄いことが書いてあると驚いたのです。それから『黄帝内経』などの鍼灸について書かれた古典にのめりこんで、全国各地の有名な鍼灸の先生を訪ねました。

そうするうちに自分自身も鍼灸の免許が欲しくなって、米山博久先生を訪ねて、大阪鍼灸専門学校(現 森ノ宮医療学園専門学校)を紹介してもらったのです。

森ノ宮は鍼灸界の東大と言われていた!

森ノ宮にはすごく感謝しています。この仕事を与えてくれたのも森ノ宮ですから。当時、森ノ宮は“鍼灸界の東大”と言われていました。実は私も一度、入試で落ちたのです(笑)。

米山先生からは、勉強するコツは「一日も休まないこと」と言われました。実際に、私は一日も授業を欠席しなかった。それで卒業する時、精励賞ももらったのです。

森ノ宮で、一番記憶に残っていることは、鍼灸研修旅行で淡路島に行ったことです。島に住む方々にボランティア(無料)で鍼灸治療をさせてもらうのです。現在は附属診療所で臨床実習ができるようになって、行われなくなったようですが、その時の経験が自分の治療でのポリシーとなっています。